

1. 交通事故ゼロへの要請 (P1)
2. 村議会委員体制決まる (P2)
3. 議長に 車 清南氏
3. 横越分館で消費生活講座 (P3)
4. 巡回図書のご利用を (P4)
5. 杉生活互助会で葬式祭壇貸出 (P4)
6. 亡びゆく村の植物 (上) (P4)

おもしろ

広報

75 6

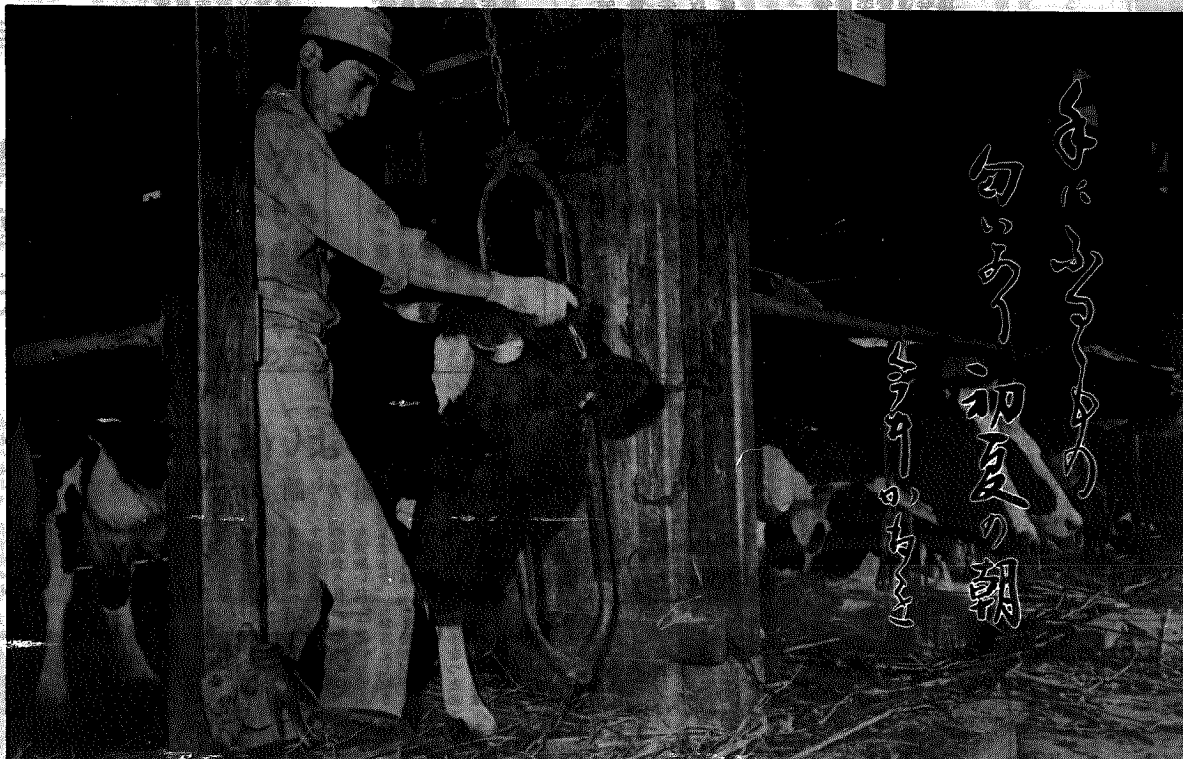
No. 37

昭和50年6月1日発行

発行 横越村役場

働くシリーズ ⑤

もにふくまの
匂いあり初夏の朝
ふりやりのもと



酪農に精を出す青年（横越下地区）

交通安全 七口への要請

県民のみならず、ご承知のとおり、去る五月十二日から春の全国交通安全運動が行われ、県民こそぞ交通安全事故防止への誓いを新たにしているところであります。

おかげさまで、当県の交通安全は、昭和四十七年をピークとして、件数・死者・負傷者ともよりやく減少の傾向にありましたが、本年に入りまして再び増加の兆しが見られ、ことに五月に入ってから昨日までに、県内において昨年より十三人多い二十八人というかたがたの尊い生命が失われました。

まさに興状事態ともいふべきであり、まことに憂慮にたえません。

県といたしましては、この事態を重視し、関係行政機関団体と手を携え、事故防止のためにまい進することを決意するものであります。が、真の事故防止は、やはり県民ひとりひとりと、運転者も歩行者も交通事故の悲しさに思いをいたし、みんなが交通ルールを守ることに、よってこそはじめて達成されるものであると信じております。

ここに県は、「交通事故死の三年連続減少」を何としても達成するために、道路では人も車もお互いにゆすりあいの気持を持ち、自分本位の無理な行動を慎しむ等、今後の事故防止のため一層の御努力を県民みなさまに重ねて強くお願いいたします。

昭和五十年五月二十日
新潟県知事 君 健 男

ひとりひとりが気をつけて ゆすりあう心を大切に

こどもとび出しは絶対にしないこと。
おかあさん…こどもの手は、しっかりとにぎって歩くこと。

おとしより…できるだけ夜の外出はやめること。
自転車乗り…右折するときは必ず後方の安全を確認すること。

運転者…経済速度を守り、無理な追越しはしないこと。

横越村

今年から単独野球大会を開催、五月半ばに試合を開始するといこと、18チームの申込みがありました。手塚以上の参加で主催者も喜んでいます。チーム10人として一八〇名の村民の方々が参加される訳で、これだけ大勢の若い人たちが野球場に集る意欲、スポーツに対する深い関心を持っていただけることになるでしょう。これ以外の人々でも参加したいが、チームが作れず残念がっている人も多いと思います。

六月は県民スポーツの日があり、村でも各種の体育行事が催されます。柔剣道、銃剣道、バレー、ソフトボール、ボートボール、掛け投げなど一般の方々でも参加ができるやさしい種目もあけられているので是非多くの方々から参加して頂きたいと思っております。

スポーツの振興については前から努力が続けられてきましたが、体育協会が発足以来とくにスポーツ人口が増加して参りました。たゞ選手を養成するというだけでなく、一般村民の皆さんがそれぞれ立場で適當なスポーツに参加して頂く。そして心身ともに健全な発達をするように努力して頂くことにより健康な横越村が作られていくのでしよう。

スポーツをするためには場所が必要で、場所さえあれば自然とやる気もあがってきます。幸い村では学校のグラウンドの外に、青年団で造成された苑山グラウンド、民権地区の方々の努力による汎勝グラウンドがあり、他市町村からも使用申込みがあるくらい利用されています。そこでは大衆喜ばしいことです。

はからば村民体育協会の設立ということですが、それには横越の体育協会の万全に成りたすスポーツ施設と運営することです。